

CABLINE-UY SHELL A 壓着 JIG

Part No. 91159-0**

Instruction Manual

5	S25452	November 19, 2025	R. Hatano	T. Tanigawa	H. Ikari
4	S25403	October 7, 2025	R. Hatano	T. Tanigawa	H. Ikari
3	S23375	October 20, 2023	W. Lau	Y. Shimizu	M. Takemoto
2	S22381	August 30, 2022	R. Hatano	T. Tanigawa	H. Ikari
Rev.	ECN	Date	Prepared by	Checked by	Approved by

1. 概要

本治具は I-PEX コネクタ CABLINE-UY の PLUG HSG ASS'Y と SHELL A を圧着するための治具である。

2. 仕様

詳細仕様は下記の通りである。

名称	CABLINE-UY HAND TOOL 5/10/12/16 P
治具型番	5P:91159-005 / 10P:91159-010 12P:91159-012 / 16P:91159-016
適用 PLUG CABLE ASS'Y 型番	CABLINE-UY PLUG CABLE ASS'Y P/N:20857-0**T-##-#
適用 PLUG HOUSING ASS'Y 型番	CABLINE-UY PLUG HOUSING ASS'Y P/N:20907-0**E-##-#
適用 SHELL A 型番	CABLINE-UY PLUG SHELL A P/N:3568-0**#-#
クリンプハイド寸法	0.68~0.74[mm]
外形寸法、重量	(W) 150[mm] × (D) 180[mm] × (H) 310[mm] 約 6.8[kg]
生産能力 (圧着工程のみ)	120 plug / h(参考)
パーツ交換 SHOT 数(推奨)	50~100 万 SHOT (交換対象* : CRIMPER、WORK GUIDE、ANVIL)

※各仕様は、品質上の理由により予告無しに仕様の一部を変更することがあります。

治具型番一覧

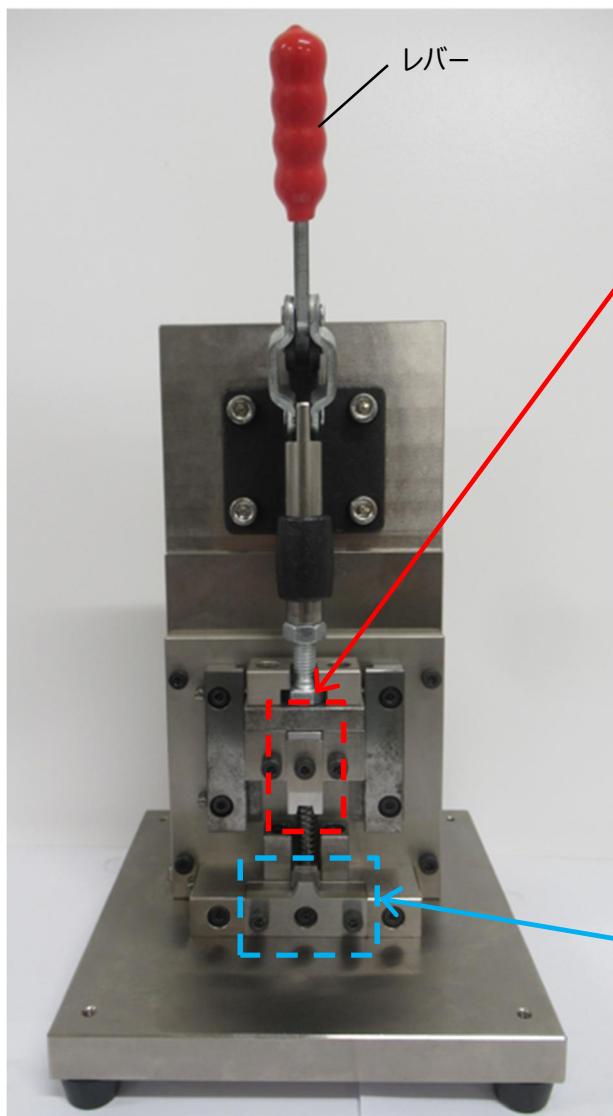
	名称	I-PEX P/N
5P	CABLINE-UY HAND TOOL 5P	セット型番 : 91159-005
	CABLINE-UY HAND TOOL CRIMPER 5P	3662-0051
	CABLINE-UY HAND TOOL WORK GUIDE 5P	3663-0051
	CABLINE-UY HAND TOOL ANVIL 5P	3661-0051
10P	CABLINE-UY HAND TOOL 10P	セット型番 : 91159-010
	CABLINE-UY HAND TOOL CRIMPER 10P	3662-0101
	CABLINE-UY HAND TOOL WORK GUIDE 10P	3663-0101
	CABLINE-UY HAND TOOL ANVIL 10P	3661-0101
12P	CABLINE-UY HAND TOOL 12P	セット型番 : 91159-012
	CABLINE-UY HAND TOOL CRIMPER 12P	3662-0121
	CABLINE-UY HAND TOOL WORK GUIDE 12P	3663-0121
	CABLINE-UY HAND TOOL ANVIL 12P	3661-0121
16P	CABLINE-UY HAND TOOL 16P	セット型番 : 91159-016
	CABLINE-UY HAND TOOL CRIMPER 16P	3662-0161
	CABLINE-UY HAND TOOL WORK GUIDE 16P	3663-0161
	CABLINE-UY HAND TOOL ANVIL 16P	3661-0161

※91159 は 3661、3662、3663 の対応する Pin パーツを含みます。

CABLINE-UY PLUG のはんだ付け方法・工程、および SHELL A の組み立て方法・工程は、
“CABLINE-UY Assembly Manual (ASM-18002)”を参照してください。

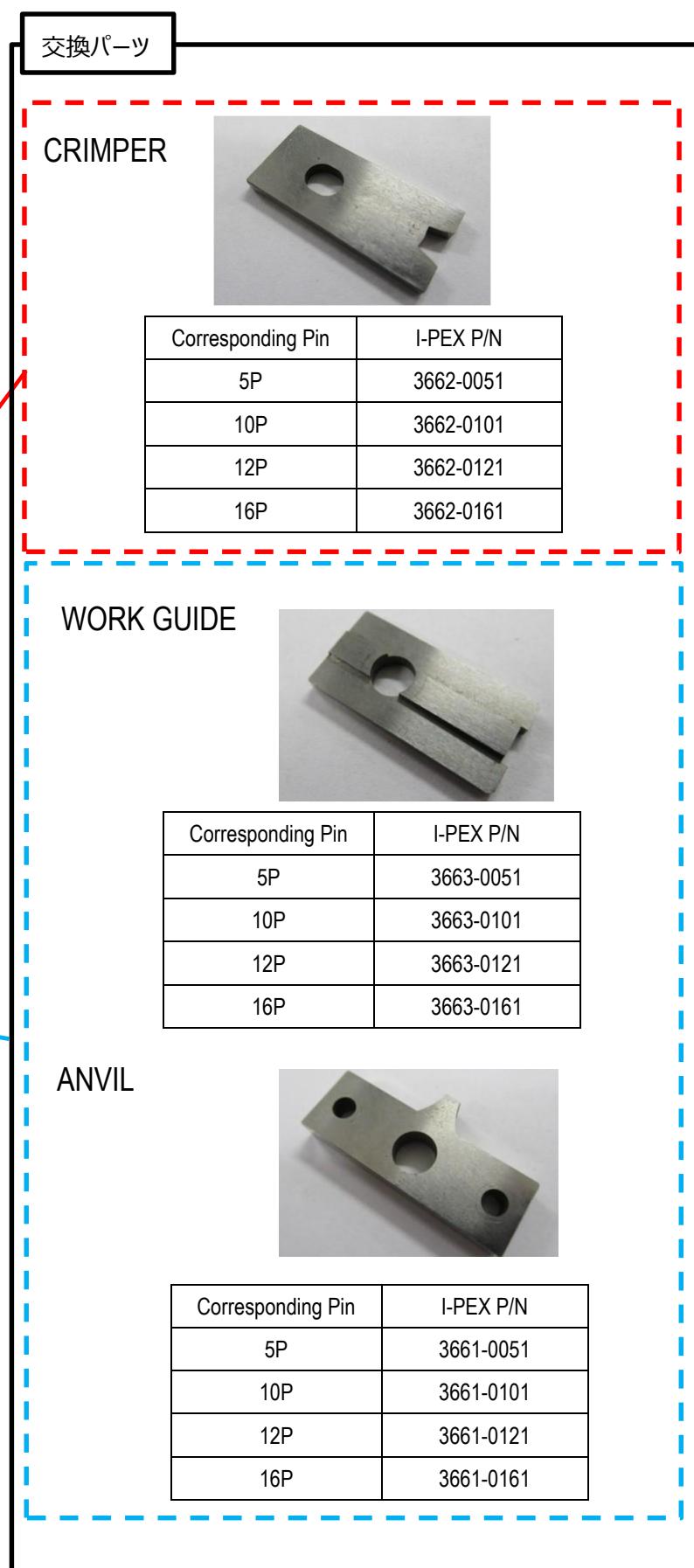
3. 各部名称及び構成

JIG 全体の構成



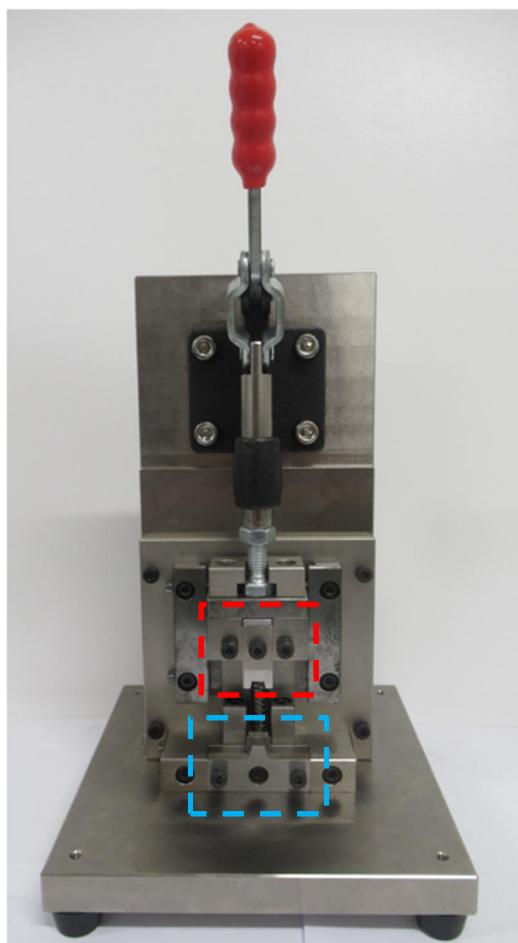
HAND TOOL

Corresponding Pin	I-PEX P/N
5P	91159-005
10P	91159-010
12P	91159-012
16P	91159-016



4. パーツ交換方法(CRIMPER、WORK GUIDE、ANVIL)

工具：六角レンチ(3mm)を準備して下さい。



共通パーツ

共通パーツ①

共通パーツ②

※全芯数で共通

取り換えパーツ

CRIMPER

Corresponding Pin	X [mm]
5P	4.57
10P	6.33
12P	7.03
16P	8.43

WORK GUIDE

Corresponding Pin	Y [mm]
5P	4.00
10P	5.70
12P	6.40
16P	7.80

ANVIL

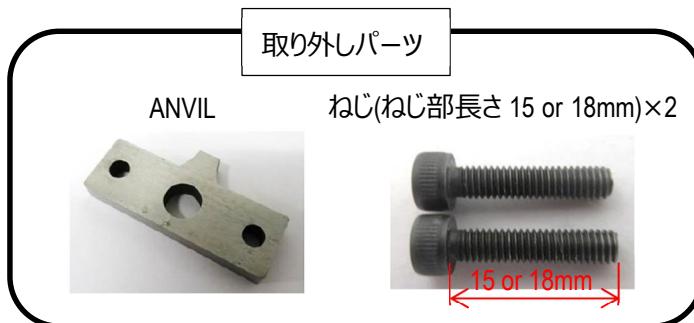
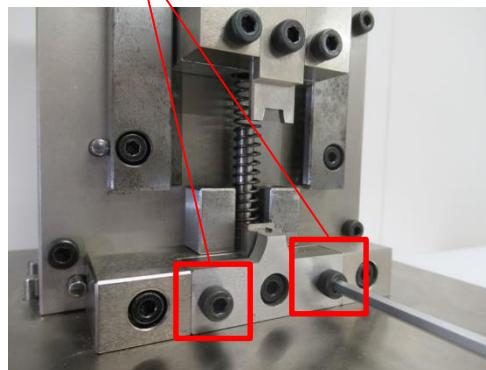
Corresponding Pin	Z [mm]
5P	3.31
10P	5.07
12P	5.77
16P	7.17

4. パーツ交換方法

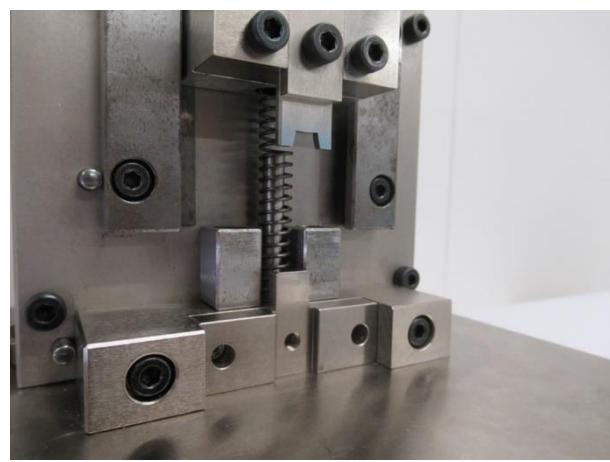
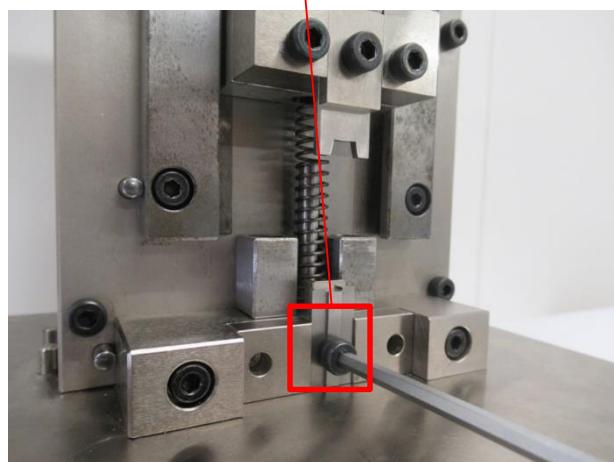
4.1 パーツの取り外し (1.受け部、2.カシメ部の順に取り外しを行ってください。)

1.受け部

① レバーを上げた状態で六角レンチを用いて赤枠部のねじを外し、ANVIL とねじ(ねじ部長さ：15 or 18mm)×2 本を取り外す。



② 六角レンチを用いて赤枠部のねじを外し、WORK GUIDE とねじ(ねじ部長さ 6mm)×1 本を取り外す。

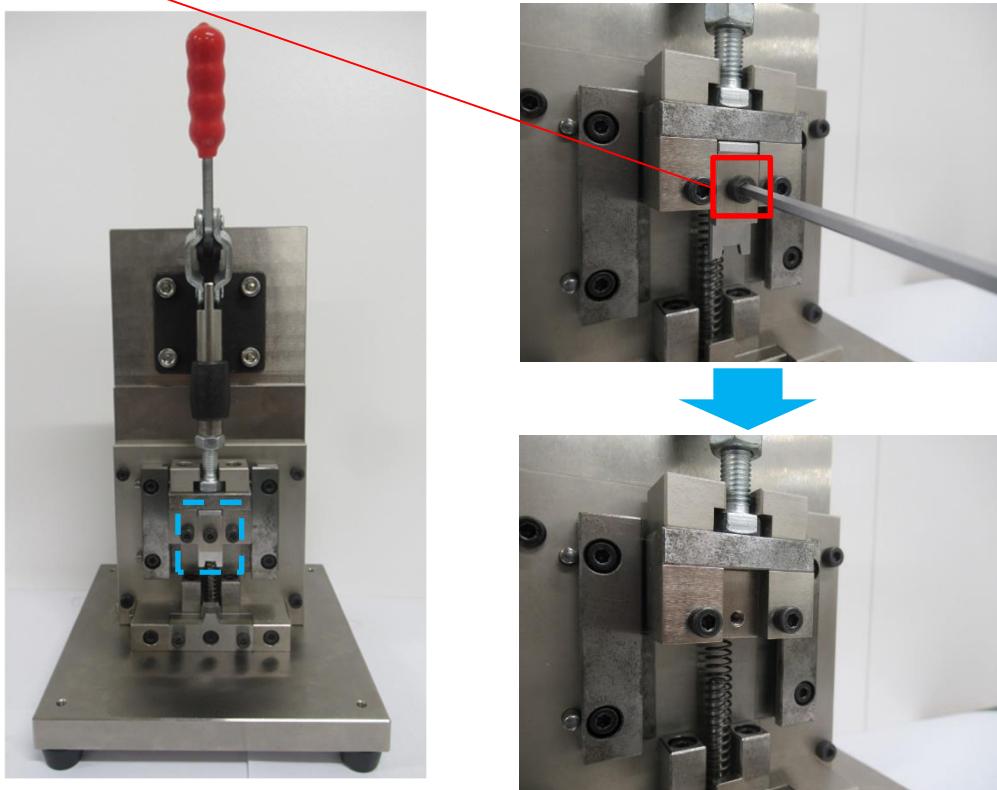


4. パーツ交換方法

4.1 パーツの取り外し (1.受け部、2.カシメ部の順に取り外しを行ってください。)

2.カシメ部

① 六角レンチを用いて赤枠部のねじ(ねじ部長さ 10mm)を取り外す。



取り外しパーツ

CRIMPER



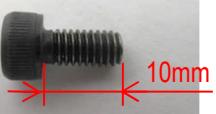
共通パーツ①



共通パーツ②



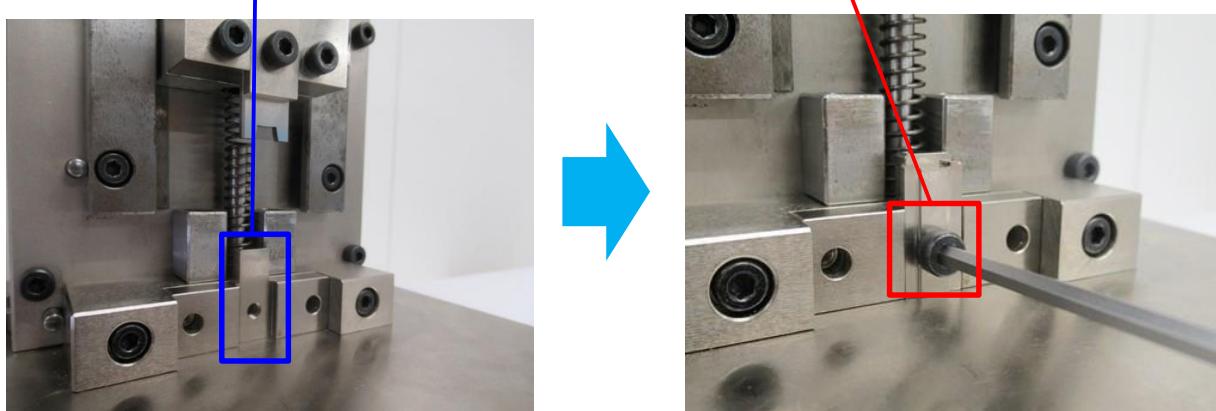
ねじ(ねじ部長さ 10mm)×1 本



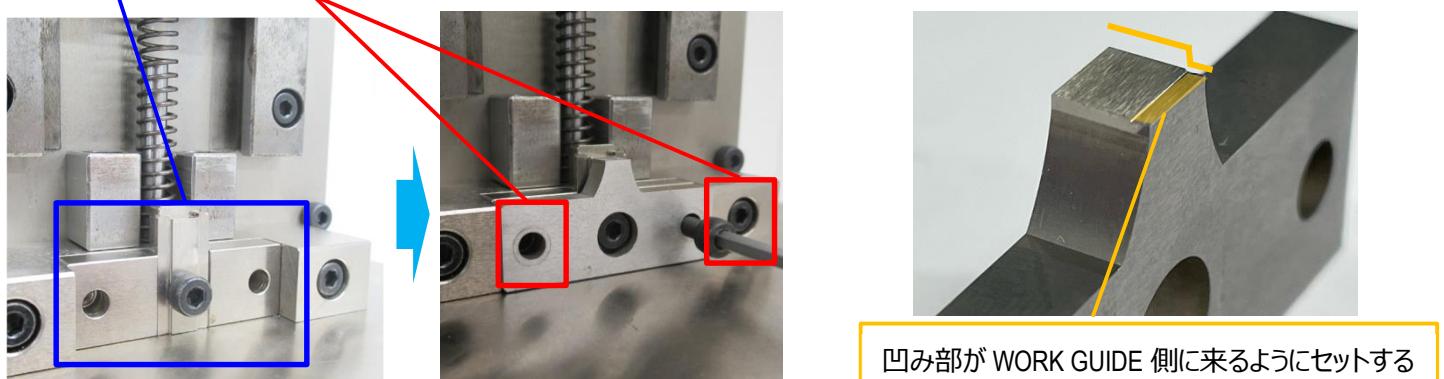
4. パーツ交換方法(CRIMPER、WORK GUIDE、ANVIL)

4.2 パーツの取り付け (1.受け部、2.カシメ部の順に取り付けを行ってください。使用したい芯数のパーツかどうか確認してください。)

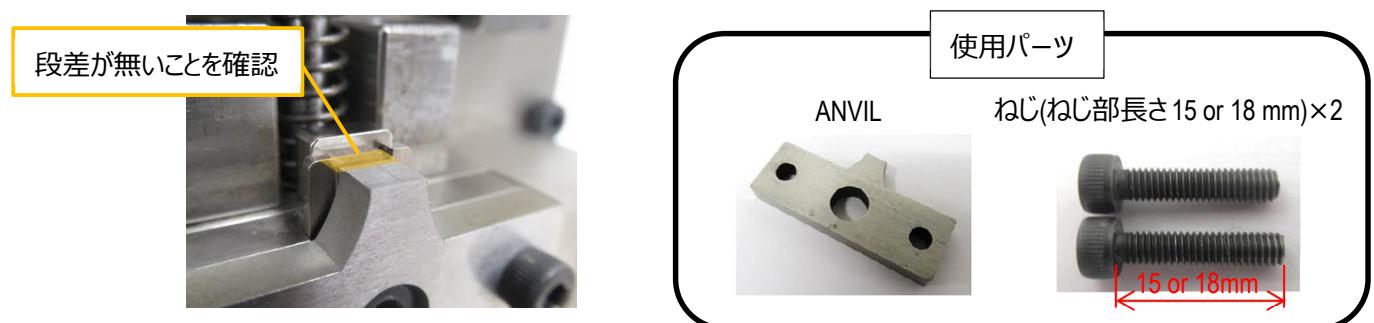
1.受け部

① レバーを上げた状態で青枠部にWORK GUIDEを嵌め※、六角レンチを用いて赤枠部にねじ(ねじ部長さ 6mm)×1本で固定する。

※WORK GUIDE の凸部が手前、凹部が上向きになるようにセットして下さい。(Photo 参照)

② 青枠部にANVILを凹み部がWORK GUIDE側になるように嵌め、六角レンチを用いて赤枠部にねじ(ねじ部長さ：15 or 18mm)×2本で固定する。

※固定後 ANVIL と WORK GUIDE に段差が無く、土台と水平であるかの確認を行う事。

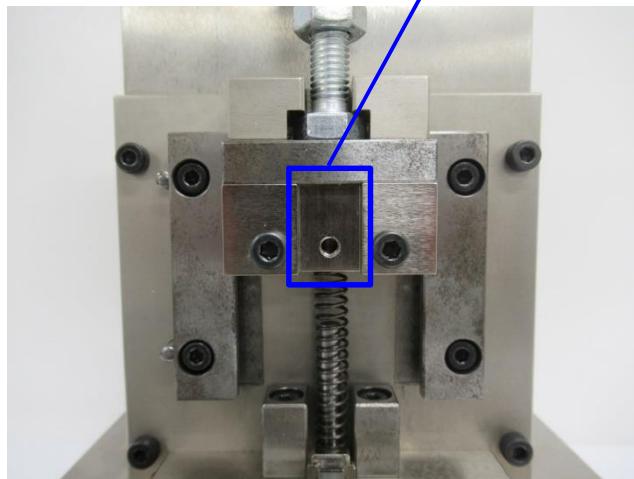


4. パーツ交換方法(CRIMPER、WORK GUIDE、ANVIL)

4.2 パーツの取り付け (1.受け部、2.カシメ部の順に取り付けを行ってください。使用したい芯数のパーツかどうか確認してください。)

2.カシメ部

① レバーを上げた状態で共通部品①を青枠部上面にあてる

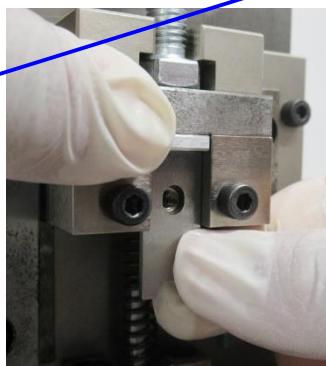
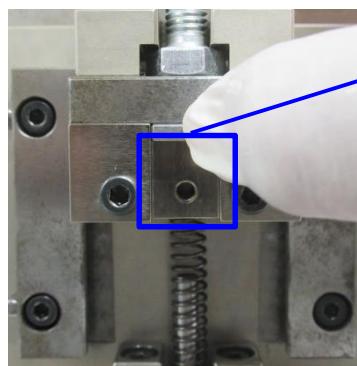


使用パーツ

共通部品①



② 共通部品①はそのままの状態で、CRIMPER を本体と CRIMPER のねじ穴位置が合わせ、CRIMPER のカシメ部が下向きに面取り部が手前側になるように青枠部にあてる。



使用パーツ

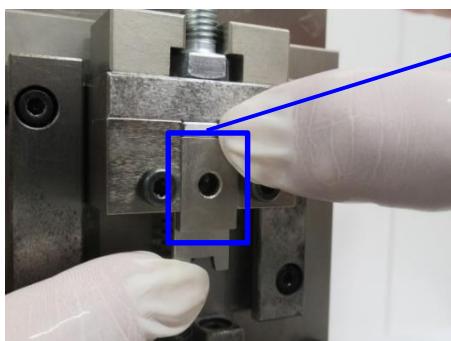
CRIMPER



面取り部

③ 共通部品①と CRIMPER はそのままの状態で、

本体と CRIMPER、共通部品③のねじ位置を合わせるように共通部品②を青枠部にはめる。



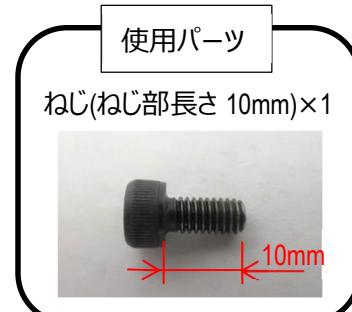
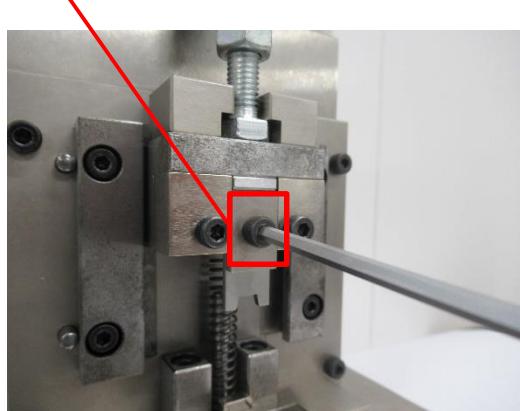
使用パーツ

共通部品②

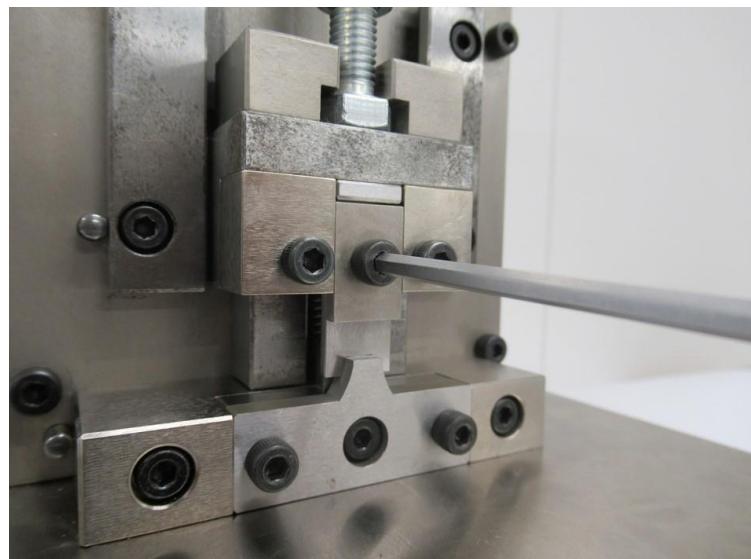


2.カシメ部

④ 六角レンチを用いて、**赤枠部**にねじ(ねじ部長さ：10mm)×1本で**仮締め**する。



⑤ レバーを倒し、CRIMPER と ANVIL を密着させた状態で前工程手順④で仮締めを行ったねじを**本締め**する。



⑥ レバーをあげる。

6. 取扱上の注意及び保守

- I-PEX コネクタ CABLINE-UY の PLUG HSG ASS'Y と SHELL A を圧着する為の治具です。従って指定外(適合しない)製品にて圧着を行いますと治具の損傷を招く恐れがありますので、指定以外の使用は行わないで下さい。
- むやみに交換部分以外のねじやボルトを緩めたり、外したりしないで下さい。又、指定の部品以外を交換すると治具の設定に狂いが生じ製品の品質に影響を与えますので絶対に行わないで下さい。
- 治具のお手入れは定期的に製品に関わる部分に付着しているケーブル切り屑等をブラシ、エアー等にて必ず清掃を行って下さい。